

令和4年度

# ブロック別研修会の取組 実践発表

～幡多南ブロック 宿毛市立二ノ宮保育園～

## 1 園の概要

### ○園児数、クラス数、職員構成

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
クラス	こあら組	ひよこ組	りす組	うさぎ組	きりん組	ぞう組	
園児数	6	3	7	8	2	9	35
担任	2	1	1	1		1	6
その他	園長1・家庭支援推進加配保育士1・保育補助1・調理師2 朝夕2hパート保育士1						

### ○保育目標

- ・ 基本的な生活習慣を身につける  
(早寝、早起き、洗顔、朝ご飯、歯磨き、排泄)
- ・ 健康でしなやかな心と体を育てる
- ・ 豊かな感性を育てる。友だちの気持ちがわかる心を育てる

### ○給食目標

- ・ 楽しい給食

## 2 研修目標

「異年齢で関わりながら、子どもたちが主体的に遊びを発展していけるような保育者の援助や環境構成について」

## 3 研修目標設定の理由

当園は明るく元気な子どもが多い。しかし自己主張が強く些細なことではいざこざになりやすく、人の話を聞くのが苦手などの姿が見られる。そのため、友だちと関わりながら主体的に活動し、様々な体験をすることで、満足感を得られるようにしていきたい。そこで、一人ひとりの子どもが興味、関心のある活動が深められるための保育環境と援助について研究し、保育内容を共通理解して保育をしていけるよう研修を深めていきたい。

# 4 年間取組内容

月	計画	内容
4月	園内研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修目標の決定と共通理解</li> <li>・指導案作成について</li> </ul>
5月	園内研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインを活用した保育実践の確認</li> <li>・指導計画の書き方</li> </ul>
6月	園内研修（3・4歳児研究保育）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の保育を通しての研究協議</li> </ul>
7月	園内研修（2歳児研究保育）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の保育を通しての研究協議</li> </ul>
8月	園内研修（5歳児研究保育）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の先生を交えて本日の保育を通しての研究協議</li> </ul>
9月	園内研修（0・1歳児研究保育）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の保育を通しての研究協議</li> </ul>
10月		
11月	公開保育・研究協議（2、3・4、5歳児）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開保育</li> <li>・本日の研修を通しての研究協議</li> </ul>
12月	園内研修（親育ち支援）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例研修</li> </ul>
1月	1年間を振り返り （13ブロック交流会に向けて）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の振り返り</li> <li>・1年間の実践発表資料作成に向けた協議</li> </ul>
2月	13ブロックの交流会への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修目標に基づいた成果と課題、振り返り</li> <li>・ガイドラインを活用した保育実践の振り返り</li> </ul>
3月	園内研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度に向けての計画づくりと年間指導計画の検討</li> </ul>

# 5 成果

## ①子どもの姿の変容

- 子どもたちの興味がある遊びを取り入れ、教材研究をし充実させることで、好きな遊びを自分で選び、じっくり遊びを楽しめるようになった。
- 子どもたちが「こんなふうにしてみたい」と自分たちで考え、主体的に遊びを発展できるようになってきた。
- 子どもたちが興味あるカードゲームやかるたなどを取り入れることで、ルールや約束を守って楽しめる姿が見られてきた。そのことが生活のなかで順番を待つ、約束を守るなどにもつながっている。

### ☆好きな遊びを選べる場・コーナー

- ・虫ランド
- ・わくわくのまち
- ・魚釣りコーナー
- ・おみせやさんごっこ
- ・製作コーナーの材料、教材を充実させ、自分で選んで製作する

# 5 成果

## ②研修体制に関わる内容

### ○全職員で研修できる体制

- ・園全体で子どもの姿を共有し、様々な視点から考え共通の認識や目標をもって子どもに関わることができた
- ・代替保育士の確保
- ・調理師の参加
- ・福祉事務所（主管課）より参加（1回目より）

# 5 成果

## ③保育者の意識や保育実践の変容

### ○職員同士の共有

- ・全職員の様々な視点から子どもの発達や課題を考えることができ、園全体で見通しをもった保育を展開していくことができた。

### ○環境構成

- ・子どもをいろいろな視点で見ていくなかで、子どもの興味、関心がある遊びを捉え、環境構成を見直し実践していくようにした。
- ・じっくりと生活や遊びができるように、保育室をパーテーションなどで区切ったり、動線を変えるなどの工夫をしていった。

### ○保護者との共有

- ・子どもの姿（楽しんでいる場面や真剣に取り組んでいる姿など）を、具体的に保護者へ伝え、成長などを共有する時間が持てた。

# 5 成果

## ④公開保育を行って

- 参加者の様々な視点からのアドバイスを聞き、子どもに合った環境の再構成ができた。
- 自分の保育を振り返り、一人ひとりに合った関わりや手立てを実践していくことができた。
- 全クラスが園内研修を行うことで、お互いが保育実践を学び合うことができた。
- 園内研修や公開保育のなかで、子どもの姿を全職員で捉え、改めてその背景を話し合い、共通理解を持って関わることができた。

## 6 来年度に向けて

### ①子どもの姿から、さらに伸ばしていきたい力

○好きな遊びにじっくり取り組み、伸び伸び活動する。

○子どもたちが互いに気持ちを伝え、認め合いながら相手を思いやる心を育てていきたい。

### ②研修体制・保育実践・保育の質に関すること

○幼児の会、乳児の会を充実させ、異年齢のつながりをより深めていけるよう連携を密にしていく。

○配慮が必要な子どもや家庭への対応について、職員全体で研修していく。

○遊びを充実させるための環境構成をこれからも続けていく。

- ・園全体（各クラスや園庭）のなかで自分が好きな遊びやコーナーを選び、異年齢で関わりながら遊びを深めていく。
- ・給食後の時間を利用し異年齢がホールに集い、絵本やカードゲームなど楽しめる場として「みんなのおへや」の取り組みをはじめた。子どもたちも「早く給食を食べて、遊びにいきたい」という姿も見られ、これからもみんなが楽しめる場を充実させていきたい。